

# タイトル『真田 + 勇士 ⇨ 参上、猿飛佐助』

著者：小前亮

出版社：小峰書店

戦国の時代、山々に囲まれて過＝して＝いた＝佐助は一人、老人 戸沢白雲斎、と出会う。白雲斎の正体が「忍びた」ということをし、た佐助は「ムソ」で生きていく力を身につけたい、という考えで忍びになることを決める。

五年後、師匠である白雲斎から「猿飛佐助」の名をもら、た佐助は「闇の中でもまっすぐに生きる」と、という師匠の言葉を胸に初の戦場での仕事にとりかかる。

そこで出会、たのは、後に佐助が仕えることになる武将、真田幸村だった。

この二人の出会いが戦国の世を大きく変えることに――。

投稿日 2017年 12月 日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

世界反ドーピング機構

年齢

13歳